

踊りに 行くぜ!!

We're Gonna Go Dancing!! II vol.4 in Tottori
2PM on Sunday 26th January 2014
At BIRD Theatre, Shikano, Tottori

鳥の劇場
BIRD Theatre Company TOTTORI

JCDN
ダンスと社会を結ぶネットワークNPO
Japan Contemporary Dance Network

セカンド

!! II vol.4

鳥取
公演

日時 2014年1月26日(日) 開演 14:00

会場: 鳥の劇場 (鳥取県鳥取市鹿野町鹿野 1812-1 電話 0857-84-3268)

余越保子作品『ZERO ONE』



黒沢美香作品『渚の風 <聞こえる編>』

撮影: 森泉



とりとダンス作品『クウネルダンス』

撮影: 中島伸二



菅原さち系作品『MESSY』

撮影: 越後谷出



チケット: 大人 2,000 円 / 中高生 500 円 / 小学生以下無料

チケットのご予約は電話、ウェブ、電子メールでお受けします。*予約受付は 12/18 (水) より (料金はご来場時にお支払いください。)

鳥の劇場 TEL 0857-84-3268 web www.birdtheatre.org Email ticket@birdtheatre.org

ダンスオンライン予約サービス web <http://dance.jcdn.org/>

「踊りに行くぜ!!」IIの全てのチケットは、JCDN ダンスリザーブで予約可能! JCDN 会員への割引サービスあり。



黒沢美香さんと余越保子さんは実績のある振付家。黒沢さんは50歳代の3人の大学の研究者と、NY在住の余越さんは2人のプロダンサーと、それぞれ気合いの入った新作です。若手新鋭、菅原さち系さんは、この企画で2年前に作った作品をさらに磨いて上演。年々深化を続ける地元とりとダンスも、充実した身体をお見せします。この企画でしかできない、鳥の劇場でしか見れない超魅力的ラインナップです!
鳥の劇場芸術監督 中島諒人

鳥の劇場 2013 年度プログラム<招くプログラム>

共催・制作・協力: 特定非営利活動法人鳥の劇場
後援: 鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野
主催: 文化庁 NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)
全体企画・制作: NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

文化庁委託事業「平成 25 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

助成: **Asahi** アサヒグループ芸術文化財団 公益財団法人セゾン文化財団

協賛: **トヨタ自動車株式会社**

協力: **Asahi** アサヒビール株式会社

稽古場提供: トヨタ創造空間プロジェクト

踊りに行くぜ!! II vol.4 鳥取公演

セカンド

★制作現場から巡回公演まで、作家・主催者の裏側を徹底的に密着取材する「報告するぜ!!」もご注目ください!!

(取材・記事：飯名尚人・國府田典明)

<http://odori2.jcdn.org/4/>

「踊りに行くぜ!!」II(セカンド)は、“ダンス作品”をつくるプロジェクト。

<A:ダンスプロダクション><B:リージョナルダンス>という2つのプログラムを設け、新作品のアイデアを全国公募より選出しました。各地での作品制作<ダンス・イン・レジデンス>を通して作品を仕上げ、全国6会場で上演します。鳥取公演では、<A:ダンスプロダクション>より新作2つ、再演作品1つ、そして地元作品の計4作品を上演します。

A ダンスプロダクション:
作・演出家/作品に必要な構成メンバー(美術・音楽・映像など)を編成し作品制作を行う
A1・・・若手作家 A2・・・経験のある作家



A II (新作品)

渚の風 <聞こえる編>

ミカツキ会議は3人の大学教授が50才を過ぎてから踊ることになった他に類のないユニットです。彼らはダンス訓練をしていない。繊細に動く術はないので、体中の全部をいちいち全力で動かす。それはダンサーを飛び越えて、たくましく生命力に富み、なにより楽しそう。ダンスが等身大の取り組みと見てとれる。脳も筋肉だ。がむしゃらで泥臭いはずが、なぜに透明で澄むのか君は。

ミカツキ会議【プロフィール】
2011年3月結成、5月ダンスデビュー@慶應大学
2012年8月「渚の風」で本格デビュー@日暮里d-倉庫「ダンスがみたい」

演出・構成・振付：黒沢美香
出演：ミカツキ会議(前野隆司、武藤浩史、横山千晶)
音：サエグサユキオ
衣装：武藤真子
演出協力：首くり栲象
ダンス・イン・レジデンス@鳥の劇場

黒沢美香(神奈川)

横浜生まれ。1982~85年NY滞在中ジャズ・グループを追いかけ今も尊敬する。大群舞の「黒沢美香&ダンサーズ」、ソロダンスの『薔薇の人』シリーズを進めながら、「ミカツキ会議」を結成。子どもの文化芸術体験事業や、社会・地域連携プログラムに参加。日本のコンテンポラリーダンス界のゴッドマザーとも称されている。
<http://www.k5.dion.ne.jp/~kurosawa/>

監修・演出・振付：余越保子
共同振付・出演：福岡まな実、福岡さわ実
映像コンサルタント：峯利子
衣装・美術：岩崎晶子
映像出演：首くり栲象、黒沢美香、川村浪子
(映画「Hangman Takuzo」余越保子監督作品より)
ダンス・イン・レジデンス@鳥の劇場



余越保子(ニューヨーク)

広島県出身。ニューヨーク在住。1996年よりニューヨークをベースに作品を発表。2003年と2006年ベッシー賞を連続受賞しニューヨークダウントウダンス界の話題を集める。アメリカ初の試みである劇場主催型レジデンスプログラム(New York Live Arts主催)2012-13年度レジデントコミッションアーティストに選ばれ今年3月に『ベル』を発表。ZERO ONEは余越が日本でつくる初のダンス作品。

撮影:Miana Jun

MESSY

正解の無い現実にはぶち当り
必死に自分を整理しようとするが、ますます収集がつかなくなり
不甲斐ない自分に怒りと悔しさと悲しさがこみ上げる。

それでも私は掻き分けて這いつくばりながら自分の正解に体当たりしていく。

誰もがとっちらかった頭の中を抱えている

3人の暴走逃走ストーリー

再演作品

作・演出：菅原さち糸
振付・出演：田中夢、緒方祐香、菅原さち糸
音楽：菅田典幸
ドラマツルク：内田敦子

初演：「踊りに行くぜ!!」II vol.2 Aプログラム 仙台公演



菅原さち糸(東京)

東京都出身。2005年現代舞踊公演にて地主律子作品への参加を機にダンス活動を開始。2010年まで705 Moving Co(主宰:菊地尚子)のカンパニーメンバーとして活動。その後、ソロで創作活動を始める。2010年には飯名尚人と共に演劇バンド「marga」を結成。最近ではショーに魅せられ、自身でも金粉ショーのダンサーとして「混浴温泉世界」をきっかけに生まれたゴールデンショーチーム「THE NOBEBO」に参加。

クウネルダンス

「こんにちは」「いただきます」「おやすみなさい」クウ。ネル。当たり前のように繰り返される、日常。日々の暮らしのなかには、自らの体に馴染んだ動きがある。それは、仕事であり、家事であり、あるいは息抜きの時間にも生み出されている。無意識に繰り返される動きをいま一度見つめ直し、あえて意識して動いてみる。生活に裏付けられた、美しく力強い動きが、そこに浮かび上がる。

人は、突然我が身に降りかかる非日常に、戸惑い、悩み、苦しむ。しかしそれらを、共に乗り越えて生きていく。同じまちに暮らす人々。時にすれ違い、縫れる。しかし同じ景色に包まれ同じ風に吹かれるうちに、やがて調和へと向かう。

作・構成・演出・出演：とりっとダンス(岡田アレックス嘉一 大河原ボブ翔太 小川ナンシー洋子 佐々木リンダターミー 清水スージー康子 鈴木ベッキー睦江 竹田ロ健作 原アンナ朝子 原田ココ洋子 松田マックス誉史 松田ローラ洋子)
衣装：松田洋子 小川洋子 佐々木ターミー

初演：鳥の演劇祭5
初演時構成・演出：青木尚哉

撮影:中島伸二



とりっとダンス(鳥取)

2009年、鳥の演劇祭への出演をきっかけに発足した、鹿野町に住むメンバーを中心とするコミュニティダンスのグループ。以後、鳥の演劇祭には、第2回より連続出演中。今回は過去に発表した4作品の中から、初めてメンバー自らが制作に関わった作品を、さらに磨き上げての再演に取り組む。

A II (新作品)

ZERO ONE

ZERO ONEのテーマはダンスそのものです。ZEROからONEへ—保留された時間と空間—停止しながらもずっと存在しているカラダを目撃することのリアルな感覚とはどのようなものなのか?魂の存在と不在とはなにを意味するのか?魂があるカラダを生きているとよび、抜けたカラダを死んでいるとよぶ、しかし、人は生きる痛みをカラダに残したまま、魂のみを浮遊させることができるのか?まったく同一であり、異なるふたつのカラダ、それを見つめている「あなた」の中でさまざまに行き来する知覚的発見は「私」の中の発見とまったく異なります。あなたの中に生まれる何かを同時にひたすら見つめる。~ゆえに~である、というロジックや安易な説明を深く拒み、時間と身体性をパワフルに存在させることで—わからない—といわれるコンテンポラリーダンスへの一般的な偏見や先入観をシンプルに明確に転換し、ダンスへの眼差しを説明不要にまで遠くへ広げることを課題とします。

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために



送迎します

JR浜村駅と劇場の間を車で送迎いたします。(無料、要予約)



託児します

小さいお子さまをお預かりします。(無料、要予約)



鳥のカフェがあります

上演の前後にまる達さんによる淹れたてコーヒーや各種ソフトドリンクなどを販売いたします。



バリアフリーをめざします

障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡をください。

鳥の劇場までのアクセス 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話:0857-84-3268

■JRを使って

劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。

※公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします(無料、要予約)。

□浜村駅まで

- 鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
- 倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
- 米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分

□浜村駅から

- 車で15分

■車を使って

公演日は会場近くに案内看板を設置します。

- 鳥取自動車道、鳥取西ICから約30分
- 鳥取空港から約20分
- 鳥取市中心部から約30分
- 倉吉市中心部から約45分
- 米子市中心部から約1時間30分

※ご宿泊について

- ◇山紫苑 0857-84-2211 www.sanshien.jp
- ◇お宿夢彦 0857-84-2411 www.yumehiko.co.jp
- ◇旅風庵 0857-82-0531 www.ryofuan.com

劇場への送迎については、宿へ直接ご相談ください。

